

丸絡魂

社長メッセージ

●第十三話

苦労は買ってでもしろ! ●

2009年春、出向先の配属が
海老名市のセンターに決まった。

そこは大手アパレルメーカーの物流
を全面的に担っている拠点であった。

初めての単身赴任の住処となった相模原線の社家(しゃけ)駅沿線は、なかなか列車が来ないのでしゃがんでしまうことから、通称「しゃがみ線」と言われていた。現在の海老名・厚木エリアは商業施設や物流拠点が新設され賑わいある街づくりが進んでいるが、当時は養豚場や田んぼが多く、厚木基地の関係でハーフの方々が目立つ繁華街や、夜になると湘南や藤沢から暴走族が上がってくる田舎町であった。

私は今までに、人との新しい出会いや新天地へ馴染んでいく過程を何度となく歩んで来たが、いつも誰かの助けがあった。しかし今回、引っ越しから一日中同伴してくれた出向先の部長が、「もう大丈夫だな…。まあ明日から頑張れよ」と言って去り、入居先の駐車場に一人残された時、何とも寂しく不安に襲われた。この感情は幼少期に感じたものと同じ感覚であった。幾つになっても体験の外にあるものには強い精神的緊張が襲ってくるものなのだと、明日からの逃げることが出来ない現実を受け止めながら一夜を過ごした。それが今でも懐かしさの中に厳しさを思い出す経験となり、いつでも心の引き出しから取り出せる様になった。こんな精神的緊張は経験せずに済む方が良いのかもしれないが、たまに取り出すことによって問題の大小の値踏みができる。「苦労は買ってでもしろ!」というのは貴重な格言であると感じている。

(つづく) いつもありがとうございます。

2022.9.14 代表取締役 橋口智規

ちなみに

秋の味覚といえば…椎茸や松茸🍄 実は日本以外の国ではめちゃくちゃ嫌われています(´・ω・`)理由は、靴を履き続けた臭いだから、しばらく風呂に入っていない人の匂いだから、だそうです…🍄



2022年 9月号

お結び だより

秋に解きたい健康クイズ

食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、実りの秋…
秋は健康的なイメージなのですが、実は寒暖差の
激しい秋は体調を崩しやすい季節と言われています。
心身の不調を吹き飛ばして「秋の夜長」を楽しみましょう。

健康コラム

Q1 寒暖の差で弱った胃腸を元気にして疲れも解消する野菜は次のうちどれでしょう。

①山芋 ②きゅうり ③トマト

Q2 9月は空気が乾燥しやすく内臓が弱りやすい季節です。内臓に溜まった老廃物を排出して疲労を回復させる肉は次のうちどれでしょう。

①牛肉 ②鶏肉 ③豚肉

Q3 9月は台風が多く気圧が低くなることで頭痛を引き起こす台風頭痛になる方が多いです。台風頭痛の症状を和らげるにはどのようにすれば良いでしょう。

①おでこを冷やす ②大声を出す ③耳を温める

Q4 9月は全身がむくみやすい季節です。むくみを解消するにはどこを揉めば良いでしょう。

①耳 ②ふくらはぎ ③手首

A1 ➡ ①山芋 温めず生で擦り下ろしたとろろで食べるのがおすすめ。

A2 ➡ ③豚肉 栄養ドリンクにも使われているビタミンB1が豊富に含まれています。

A3 ➡ ③耳を温める 耳をホットタオルで温めることで頭痛だけではなく、めまいや怠さといった症状も和らぎます。

A4 ➡ ②ふくらはぎ お風呂上りに行うと効果的です。

Marush Enjoy Life

◆◆◆部活動報告 2022 ◆◆◆

9/11(日) 第7回丸ゴル会

@随縁カントリークラブ 8:00IN スタート

約半年ぶりの開催となった丸ゴル会🏌️

今回は山梨県まで行きました♪ 新入部員👉

の竹迫さんに加え、外部の方にも参加して
いただき総勢15名で回りました。

天気も良く絶好のゴルフ日和となりましたが
風がなくて暑すぎた～(;_-_-)ゞ ゴルフ終了後、景品で日焼け
止めをもらったけど、始まる前に欲しかった～!🍁と嘆いた部員
もいたとか…(笑)見事な靴下焼けでした!

密かに練習しているその女性社員!(え? 誰?) 参加お待ち
してますよー! もちろん男性も大歓迎!

ゴルフ仲間を増やしましょう～(^^)



社内ランキングは

👉こちら👉

1位: 野村さん【中京】

2位: 永嶋さん【清水】

3位: 米村さん【本社】

4位: 平岡さん【清水】

5位: 高木さん【本社】



新入部員 welcome 🎵



創業50周年丸総が
ラッピングトラック

防災や観光、
子育てなど
町の魅力 PR

創業50周年を記念し、ラッピングトラックで地元・吉田町をPRしようと、町内の運送会社丸総（橋口智規社長）が津波避難タワーや特産品などをあしらった大型トラック3台を導入しました。それぞれ防災、観光、子育てをテーマにデザインされ、「走る広告塔」として町の魅力を発信します。

令和元年6月27日、北オアシスパークで開かれた出発式には関係者など約70人が出席しました。3台はともに13メートルトラックで、幅2.5メートル、長さ9.6メートルの荷台に津波避難タワーや展望台小山城、特産のウナギやシラス、子どもたちの笑顔などをプリント。出発式翌日から、本町と主に関東地方の往復を毎日日帰りで行っています。



モデルになったさくら保育園の園児たちが駆け付け、ラッピングトラックの前で大喜び



（左から）協定締結後に記念撮影/トラック背面には協会メンバーをプリント/あいさつする橋口社長

災害時支援物資の輸送や仕分けなどで連携

町は同日、丸総（防災協会）と災害時応援協定を結びました。協定は地震や風水害などの災害時に、町の要請を受けて支援物資の輸送や仕分けなどを丸総と協力が会社で連携して実施するもの。橋口社長は「雨だれ石をうがつ——。一社では限りがあるが、協力会として賛同してくれた皆さんが集まれば、できることが多くなる。これからもっと防災減災の意識を高め、メンバーでできることから始めていきたい」と力を込めました。



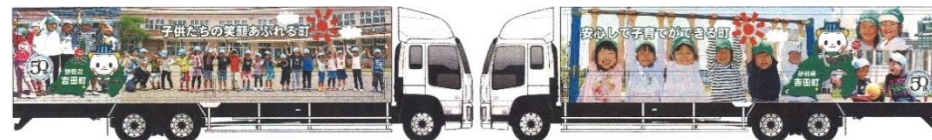
地 吉田町と YSD 防災協会が防災協定を締結
元企業と連携し災害リスクの回避へ

町は令和4年7月30日、町内の異業種10社で構成する YSD 防災協会（橋口智規会長）と防災・減災における協力和支援業務に関する協定を締結しました。この協定は災害時だけでなく平常時の活動も想定した初めてのもの。協力は防災情報の周知や防災訓練への協力、災害時における支援物資の輸送などを行います。締結式では、協定締結に向けてさまざまなサポートを行ったまづくり公社と静岡銀行吉田支店が立会人を務めました。

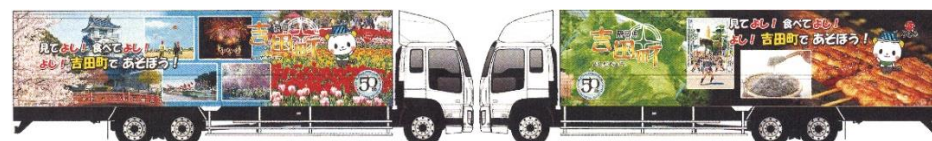


2019年に、丸総は創業50周年を迎えました。50周年を記念して、吉田町のPRをするためのラッピングトラックを3台導入し、2019年6月27日には出発式を行いました（左 吉田町広報記事参照）。

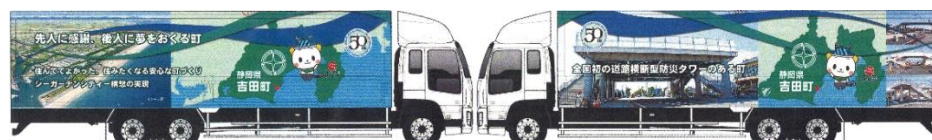
1台目のトラックは『笑顔あふれる吉田町』を、



2台目のトラックは『吉田町の産業振興』を、



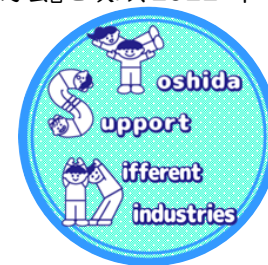
3台目のトラックは『津波防災まちづくり』をコンセプトにデザインされました。



本社のある榛原郡吉田町は静岡県中部の海沿いに位置する町です。2011年の東日本大震災以降、全国初の【道路横断型津波避難タワー】の建設をはじめ、避難路や防災公園の整備など『津波防災まちづくり』を進めています。町民だけではなく町を守るため5月に国土交通省と共催で完成式が行われた【駿河海岸防潮堤および大井川川尻地区河川防災ステーション】や、県営吉田公園など、沿岸部に新たな賑わいの創出を図るため『シーガーデンシティ構想』の具現化にも取り組んでいます。

このような吉田町の防災に力を入れる姿勢に賛同し、何か吉田町の力になれないかと、当時、丸総と地元優良企業5社、パートナー企業1社とで【防災協会】を結成し、丸総と吉田町との間で『災害時における支援物資の輸送等に関する協定』を締結しました（左記事参照）。その後、地道な活動の中で少しずつ地元賛同企業が増え、名称も『YSD 防災協会』と改め、2022年7月30日に会として正式に吉田町と防災協定を締結しました。

現在は丸総を含めた吉田町内の異業種11社が名を連ね、初代会長に弊社の橋口社長が就きました。会の名称『YSD防災協会』は吉田（Yo Shi Da）の頭文字であり、それぞれに『Y: Yoshida（吉田町）、S: Support（支援する）、D: Different industries（異業種）』との意味合いが込められています。



9/4(日) 総合防災訓練

静岡県と、吉田町を含む4市町の総合防災訓練への協力依頼を受け、この日、YSD 防災協力会として初めての活動日となりました★

@北オアシスパーク(防災公園)

吉田町 PR ラッピングトラック出動! 防災公園内で荷台ステージを展示ブースに変身させて、YSD 防災協力会の異業種11社の紹介コーナーに☆多日曜日という事もあり、お子様連れの来場を見込み展示にちょっと工夫㊦YSD シール➡をトラックのあちこちに隠し、いくつあったかを当てられたらかき氷プレゼント♪

台風接近で心配された天気も太陽が味方し…いや、味方し過ぎて日差しがじりじりと痛いくらいで、気付けばかき氷屋台には長蛇の列が(;^ω^)

@ふじみスクエア(吉田ショッピングガーデン)

県手配の支援物資を、ラッピングトラックで輸配送。ゆかいな協力会メンバーによる華麗な誘導灯さばき(笑)本部テント前では物資を運んできた4tトラックから、ラッピングトラックへと検品・積替え作業…そこへ、ナ、ナント!! 静岡県知事が視察にお見えになりましたΣ(°▽°)/

防災公園側の YSD 防災協力会ブース↓もご覧になりました。

@吉田町立中央小学校

支援物資を積んだラッピングトラックは支援物資の受入訓練を行う中央小学校へ。狭いえんぴつ門を上手に潜り抜けるハンドルさばきに、待ち構えていた町職員も思わず「ほお~(° 0° *)」と感嘆の声。無事に支援物資を届けて任務完了☆



アンケート&プレゼント

アンケート8月号で聞きました!! ~9月防災月間★我が家の災害時の備え~

●家具の固定 ●カセットコンロのボンベを4,5本常備 ●防災用品、水の備蓄 ●災害時用でカップ麺や水を常備 ●水、カロリーメイト、缶詰、電池、ローソク ●水12ケース 家具固定、非常食、水の備蓄ですね。水12ケースは賞味期限と保管場所が気になるところ…(;^ω^)

●一通りの防災グッズが入った防災リュックをネットで買って玄関横の収納棚にしまっている ●防災バッグ ●家にいる時間の方が短い(家に誰もいない時間の方が長い)ので、車に最低限生活できるものを積んでいる ●キャンプ道具を持ち出せる様に保管 セットになっている物やキャンプ用品を利用するという手も。保管場所はすぐに持ち出せる玄関付近だけと思いきや、車という発想は乗務員さんならではかも♪

●今は何もしていない ●これから用意します!! ●これといって備えはしてないがそれなりに揃っている ●実家(清水)では地震が来たら『すぐ逃げろ』と言われていたので家に備蓄するという概念が無かった。今(焼津)は自宅に備蓄していいんだ!!と驚いた あえて用意しなくても揃っているという意見も。地域によって備蓄に対する考え方にも違いがある事にびっくり(° 0°)

●簡易トイレ ●トイレは猫砂が使える! ●愛猫グッズと備蓄品を常に用意 ●ローリングストック法でかごに子供用のお菓子と主食のパンを常備!! トイレは見落としがち。大人だけでなく子供やペット目線の準備や、ローリングストック法で賞味期限切れにならない工夫も♪

●携帯電話 LINE グループで連絡、通話困難時は近隣の公園集合!! ●集合場所を決めている 簡単だけどとても大事!!是非皆さんも家族で話あって決めておくことをおすすめします。

ご意見・ご協力ありがとうございました!!

8月号当選者発表!! (27名の応募がありました☆)

★珈琲ジュースセット…橋口 正さん ★生茶…前原 裕樹さん
★カルピスギフト…紅林 雅之さん ★氷見うどん…北川 敏治さん
★ビール共通券…中村 輝美さん

↓次回抽選でプレゼント♪

★サントリー 胡麻麦茶(特保)1.05ℓ×6本……… 1名様
★アサヒスーパードライ 缶ビールセット …………… 1名様
★アサヒ飲料 すこやかカルピスギフト27缶入り… 1名様
★銀座千疋屋 銀座ゼリー 9個セット…………… 1名様
★ビール共通券 770円×2枚 …………… 1名様

アンケート用紙は各拠点の回収袋、または広報委員へ直接お渡し下さい。
応募締め切り 10/12(水)